

へいわの大切さ



いのちの尊さについて考えよう

1945年、広島・長崎に原子爆弾が投下され、一瞬で多くの尊い命が奪われました。そして、今もなおその被害によって辛い思いをされている人がいらっしゃいます。

戦争や核兵器の恐ろしさ、そして、平和の大切さ、命の尊さについて、この機会に改めて考えてみませんか。

“戦争のはなしを聞こう” 平和講演会・親子映画鑑賞会

日時：7月19日(土曜日) 午前10時から12時まで

場所：四日市市総合会館8階 視聴覚室

参加費：無料(定員220名)

申込：応募フォームからお申し込みください。当日参加も可能です。



応募フォーム

【第1部】長崎から被爆者の交流証言者をお招きし、
被爆当事者から伝え聞いた被爆体験をお話しいたします。

おはなし：堀田 雄二さん

【第2部】戦争と平和に関するアニメーション映画「100 ばんめのさる」、
「はとよ ひろしまの空を」を上映します。
※手話通訳・要約筆記あり

原爆と平和パネル展

日時：7月29日(火曜日)～8月19日(火曜日)

場所：四日市市総合会館1階 ロビー

原子爆弾による被害の様子や、原爆の子の像のモデルとなった佐々木禎子さん
に関するパネルの展示を行うほか、折り鶴作成コーナーを設置します。



【保護者の皆様へ】

本市は、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願って、昭和60年に非核平和都市を宣言しています。今年度は上記の事業を開催しますので、夏休みの平和学習にぜひお役立てください。なお、お車で越しの際は市営中央駐車場をご利用いただき、駐車券を会場へお持ちください。

【お問い合わせ先】

よっかいちしやくしょ
四日市市役所
主催：市民協働安全課

☎059-354-8179

きょうりよく じんけん
協力：人権センター